

BCG ワクチン不適正接種への注意

日本小児科医会 公衆衛生委員会 峯真人

今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行に際し、BCG ワクチンによる予防効果を期待する声があり、この状況を受け日本ワクチン学会、日本小児科学会では「その効果についてはいまだ科学的に実証されたものではないことから、BCG の本来の目的に沿った適正な接種をするように求める」との内容の文書を公開しています。また **BCG 接種手技**において、BCG 添付文書に記載されている管針法以外の皮下注射による**不適正接種**が行われているとの情報があります。

添付文書には接種法として**管針法による経皮接種のみ**が記載されており、また接種上の注意欄には、「**本剤は、経皮接種用の濃厚なワクチンであり、もしも皮内等に注射すると強い局所反応を呈するので、絶対に注射してはならない**」と記されています。

これは、日本独自の管針法に調整されており他国の BCG より 160 倍濃厚なワクチンであるからです。

予防接種法や添付文書に記載されている注意などに従わない方法で接種されたことにより発生した事象についての責任は、全て接種医個人が負うことになります。

BCG 皮下注射などの不適正接種は絶対に行わないようご注意ください。